

公共事業

【現状】

道路、治山、治水事業などの公共枠配分事業は、県予算の14%の割合。

12年度	13年度	14年度 (近県平均)
15%	15%	14% 9.6%

本県地形の特徴として、山や川が多く、整備には多額の投資が必要。このため、本県の社会資本整備率は、まだまだ低い。

道路改良率 57.7% (全国平均 66.6%)

限られた財源の中で、遅れている社会資本整備を推進するため、事業の採択に当たっては地域住民の意見を基に、必要性、緊急性、効果等により、事業を厳選するための評価基準を策定し、採択。

15年度国予算概算要求基準によれば、公共事業は3%の削減。
奨励的補助金は5%削減

【課題】

公共枠配分事業は、近県と比較し予算に占める割合が高いが、財政面から予算規模の削減目標を設定することが必要。

公共事業は、国庫補助金という財源的な有利性にも鑑み、引き続き積極的に導入を図る方針とすべきかどうかの検討が必要。

県負担額の財源措置状況

	有利な県債の交付税措置率	当年度の必要純県費
~ 13年度	概ね66%	5%
14年度~	概ね30%	10%

限られた事業費で同等以上の事業量を確保するため、入札・契約制度の見直しによる安価な発注方法の検討やコスト縮減等により、実質事業量の確保に努力。

コスト縮減 13年度までに20%削減目標を達成
14年度からさらに15%削減の目標を設定